

北陸農政局男女共同参画優良事例表彰式の実施について

北陸農政局では、局に置かれた男女共同参画推進本部の活動の一環として、平成18年度から農林水産業、農山漁村における男女共同参画の実現を目指して経営参画や社会参画等において顕著に功績のあった団体及び個人を表彰するとともに、その活動事例を広く紹介することとしております。

第2回目となる平成19年度についても、管内各県知事からの推薦を受けた候補者について、男女共同参画推進本部の審査を経て、5名の方を北陸農政局長賞受賞者として選出し、下記のとおり表彰式を実施しました。

記

1 表彰式

日 時：平成20年1月23日（水）10時00分～

場 所：金沢広坂合同庁舎1階大会議室（金沢市広坂2丁目2番60号）

式次第：開会の辞

受賞事例の紹介

北陸農政局長賞授与

農政局長あいさつ

閉会の辞

受賞者と局長との意見交換会



2 表彰点数

（北陸農政局長賞） 計5点

・経営参画部門 2点

・社会参画部門 3点

3 受賞者

部 門	団 体 及 び 個 人 名
経営参画	たか た けい こ 高 田 慶 子 (富山県小矢部市)
経営参画	やま ざき み え こ 山 崎 美 枝 子 (福井県丹生郡越前町)
社会参画	かさ はら なお み 笠 原 尚 美 (新潟県阿賀野市)
社会参画	みや い ゆき え 宮 井 幸 恵 (石川県白山市)
社会参画	つち もと けい こ 土 本 けい 子 (福井県大野市)

受賞者の活動事例紹介

〔経営参画〕

たか た けい こ
高田 慶子（富山県小矢部市）

有限会社設立を機に取締役として経営に参画、経営の多角化のため直売所店舗を開設し、農産加工部門の責任者として、伝承料理「にしんの糍漬」をはじめ、「かぶら寿司」、「べったら漬」などを新たに商品化するとともに、アイデアを活かした商品づくりを行い、女性の感性や能力を十分に発揮し、起業活動を意欲的に推進している。

また、学校給食への食材納入、小・中学生の農業体験や研修生の受け入れなど、地産地消の推進や食農・食育活動に意欲的に取り組むとともに、農業特産物推進協議会副会長、農業委員などの役職を務めるなど、農村女性の代表として女性の地位向上や地域の活性化に多大な貢献をしている。

やま ざき み え こ
山 寄 美 枝 子（福井県丹生郡越前町）

水稻＋苗生産＋しめ縄という複合経営のパートナーとして、生産・販路の拡大に重要な役割を果たしてきた。特に、新規部門として「わら加工部門」の導入に積極的に関わり、女性特有の技術と感性を活かし、しめ縄だけでなく、リースなどの商品を増やしたほか、苗生産では、花苗及び野菜苗の生産・販売も手がけ、直売に加えホームセンターなどへの販路を広げるとともに、花苗を利用したガーデニングやフラワーアレンジなどの講習会等を開催するなど、経営を大きく発展させてきた。

また、夫婦、親子で家族経営協定を締結し、役割分担を明確化するとともに、地域の専業農家女性の会「若草会」代表、農村活性化推進員、地産地消推進員を務め、消費者との体験交流やグリーン・ツーリズムにも積極的に取り組むなど、農村女性リーダーとして地域の活性化に大きく貢献している。

〔社会参画〕

かさ はら なお み
笠原 尚美（新潟県阿賀野市）

以前から県農業青年クラブ女子代表として活躍し、農業委員となったことを契機に、地域の課題として捉えていた「農村女性の主体的な経営参画の促進と仲間づくり」の場をつくることを志し、「阿賀野ネットワークフォーラムはじめのいっぽ」を中心となって開催している。このフォーラムにおいて、女性が能力を活かし、いきいきと活動するために「男女共同参画社会」、「家族経営協定」、「農村女性起業」等をテーマに、研修会やJA青年部との意見交換等を実施するなど、地域における若い世代の女性リーダー育成に多大な貢献をしている。

また、男性農業者や一般市民へも、ネットワークへの参加を呼びかけ、女性農業者との意見交換を通じて、女性農業者の社会・経営参画促進や農村の男女共同参画の促進に尽力している。

みや い ゆき え
宮 井 幸 恵 (石川県白山市)

以前から加賀酪農協女性部活動に熱心に取り組み、酪農協女性部会長、市中核農家連絡会女性部理事等として活動するかたわら、市農山漁村女性活動推進協議会において、男女共同参画推進活動のリーダーとして他の女性組織をまとめ、男女共同参画及び食育について、農業女性の立場から市長に「母ちゃんの意見」を提出するなど積極的な活動を行っている。

さらに、同協議会で、話し合いや勉強会を重ね、その成果として「男女共同参画川柳集」を作成し、啓発活動を行うなど、農山漁村女性の地位向上と農山漁村の活性化に多大な貢献をしている。

つち もと こ
土 本 けい子 (福井県大野市)

農協婦人部活動を皮切りにストロベリーオーナー農園を開園した後、指導農業士にも認定され、さらに仲間とともに女性起業グループをつくり観光農園や交流体験施設の運営等の取組を展開した。これらの活動が認められ、大野市で初の女性農業委員となった。農業委員となってからもこれまでの経験を方針決定に活かす努力が認められ、女性農業委員の複数登用を実現するとともに、自らも県下において女性初の農業委員会会長となり、県内での女性の農業委員登用の流れをつくった。

また、学校給食への地場農産物の供給に当たっても、他の女性農業委員とともに率先して取り組んだほか、女性起業グループが中心となった地産地消の推進や食育活動にも積極的に取り組み、女性農業者の活動促進に大きく貢献した。



左から、林生産経営流通部長、土本けい子氏、宮井幸恵氏、笠原尚美氏、黒木局長、山寄美枝子氏、高田慶子氏、月山次長。